

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	MO	学部・学科	データサイエンス学部
学 年	3	派遣国	イギリス
派遣大学	キール大学		
期 間	2025 年 9 月 17 日～ 2026 年 6 月 15 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 () 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (0) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	30000 円	自炊 10000、外食 20000
学用品購入費	0 円	
交通費	15000 円	バス 8000 円、その他電車飛行機など
交際費	10000 円	遊びに行く時
その他	2000 円	クラブ、Society の会費(月額平均)
合計	57000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安はよく、事件などもほとんど聞かなかった。ただ、建物が少ない分夜はとても暗くなるので遅い時間帯はあまり出歩かないよう気をつけていた。旅行の帰りなど、フライトの時間によってはどうしても遅くなってしまうことがあったが、基本的には駅からキャンパスまでバスで一本なので危険な目に遭うことは無かった。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(93080) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Immigration of Health Surcharge		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(£776) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**ストークオントレント**)

イギリス・スタッフォードシャー州に位置し、ウェッジウッドに代表される陶器産業の世界的中心地として栄えた歴史を持つ街（通称 The Potteries）。かつての産業革命期の煙突や古い窯が今も風景に溶け込んでおり、伝統的なものづくりの歴史遺産が色濃く残っている。華やかな大都市とは異なり、イギリスの近代産業の変遷と地域に根ざした人々の暮らしを肌で感じられる、落ち着いた滞在環境だった。特にキール周辺は自然豊かで空気が綺麗だった。

大学から一番近い Newcastle Underlyme という町には複数のスーパーやカフェ、チャリティショップなどがある。

【学業編】

1. 大学情報

大学	キール大学	所在地	ストークオントレント
最寄空港	マンチェスター空港	空港からの距離	車で 45 分程度
空港⇄大学	(空港から Stoke on Trent 駅まで電車、駅から大学までバス) *移動手段		
学生数	15000 以上	留学生数	2000
学部	https://www.keele.ac.uk/about/faculties/ たくさんあるのでホームページを見ることをおすすめします *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	特に決まっていなかったが、Computer Science の授業を多く取っていた *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Human Computer Interaction (Lecture 10~11 時) Science Communication (11~13 時)	Statistics with Bloomberg (Lecture 11~13 時)		
午後		Human Computer Interaction (Lecture 13~14 時) Cyberpsychology (15~17 時)		Human Computer Interaction (Practical 14~15 時) Statistics with Bloomberg (Practical 15~16 時)	

② (1)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Computational and Artificial Intelligence (Practical 11~13 時)	Applied Deep Learning (Lecture 9~11 時)	Linear algebra (10~11 時)		Computational and Artificial Intelligence (9~11 時) Linear algebra (10~11 時) Social Enterprise (Lecture 11-12 時)
午後		Applied Deep Learning (Practical 15~17 時) Linear algebra (16~17 時)		Linear algebra (13~14 時)	Social Enterprise (Practical 14-15 時)

3. 履修内容

科目	Human Computer Interaction		
履修期間	秋学期	単位数	CATS15, ECTS7.5
授業内容／形態	<p>様々なデバイスにおけるインターフェースとインタラクションデザインの基礎となる概念と原則を学ぶ。ユーザー中心設計（User-Centered Design）の考え方を軸に実際の課題を想定したデザインポートフォリオおよびデザインソリューションを作成する。</p> <p><授業形態> 講義（2 時間）、実習（1 時間）</p> <p><学生数> 約 50 人</p>		
成績	89		
YCU 振替予定	科目	特講（DS 学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Science Communication		
履修期間	秋学期	単位数	CATS15, ECTS7.5
授業内容／形態	<p>心理学の科学的知見を一般の人々にわかりやすく、魅力的に伝えるサイエンスコミュニケーションの技術を学ぶ。ドキュメンタリーやTEDトークのような実例を通して、効果的な伝え方を実践的に身につける。</p> <p><授業形態>講義（2 時間）</p> <p><学生数> 約 100 人</p>		
成績	70		
YCU 振替予定	科目		
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Cyberpsychology		
履修期間	秋学期	単位数	CATS15, ECTS7.5
授業内容／形態	<p>インターネットが私たちの心理にどのような影響を与えているか、あるいは私たちがテクノロジーにどれほど依存しているかについて心理学的視点から探究する。</p> <p><授業形態> 講義、ディスカッション（2 時間）</p> <p><学生数> 約 20 人</p>		
成績	81		

YCU 振替予定	科目	
	単位数	2
	担当教員	

科目	Statistics with Bloomberg		
履修期間	秋学期	単位数	CATS15, ECTS7.5
授業内容／形態	統計学の基本的な概念を学ぶとともに、Bloomberg 端末を使って実践的に理解を深める。講義では理論を学び、Bloomberg コンピュータラボでの実習では、経済・ビジネス・金融関連のデータを取得し、分析する。 <授業形態> 講義（2 時間）、実習（1 時間） <学生数> 約 40 人		
成績	73		
YCU 振替予定	科目	特講（DS 学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Computational and Artificial Intelligence I		
履修期間	春学期	単位数	CATS15, ECTS7.5
授業内容／形態	進化アルゴリズムとニューラルネットワークという計算知能の中核的なトピックについて、基礎から導入を行う。これらの技術が視覚システムやロボティクスにおいてどのように使用されるかを学ぶとともに、自然界の知能と人工的な知能システムの類似点・相違点について比較・評価する能力を養う。 <授業形態> 講義（2 時間）、実習（2 時間） <学生数> 約 50 人		
成績	42		
YCU 振替予定	科目	計算機統計学	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Applied Deep Learning		
履修期間	春学期	単位数	CATS15, ECTS7.5

授業内容／形態	<p>ディープラーニングの能力と限界（CNN や LSTM を含む）を理解し、適切なソフトウェアライブラリを用いてプログラムを実装することに焦点を当てる。テキスト分析、コンピュータビジョン、画像処理、パターン認識などのタスクへ応用するスキルを習得する。</p> <p><授業形態> 講義（1 時間）、実習（2 時間）</p> <p><学生数> 約 10 人</p>	
成績	84	
YCU 振替予定	科目	機械学習
	単位数	2
	担当教員	

科目	Linear algebra		
履修期間	春学期	単位数	CATS15, ECTS7.5
授業内容／形態	<p>主なトピックとして、行列代数、線形変換、連立一次方程式の解法、行列式、固有値・固有ベクトル、対角化、3次元ベクトル代数と幾何学（直線と平面）、線形独立性と基底などを学習する。</p> <p><授業形態> 講義（1 時間×週 4 コマ）</p> <p><学生数> 約 50 人</p>		
成績	42		
YCU 振替予定	科目		
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Social Enterprise and Alternative Organising		
履修期間	春学期	単位数	CATS15, ECTS7.5
授業内容／形態	<p>一般的な営利企業とは異なる形態を持つ代替的な組織について深く学ぶ。具体的には、社会的企業（ソーシャル・エンタープライズ）、協同組合、チャリティ団体、ボランティア組織などが、社会課題の解決や公共サービスの提供においてどのような役割を果たしているかを探求する。</p> <p><授業形態> 講義（1 時間）、実習（1 時間）</p> <p><学生数> 約 50 人</p>		
成績	75		
YCU 振替予定	科目	アントレプレナーシップ実践論	
	単位数	2	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

イギリス・キール大学での留学生生活全体を通じて得た最も大きな気づきは、多様な価値観が交錯する環境において主体的に行動し、目の前のリアルな対話を通じて深い信頼関係を構築することの重要性です。

学業面では、横市で専攻しているデータサイエンスをベースとしつつ、コンピューターサイエンスやビジネス分野の講義・演習に幅広く取り組みました。特にサステナビリティをテーマとしたハッカソンへの参加は、大きな転機となりました。年齢や専攻が異なるメンバーとチームを組み、限られた時間の中で社会課題解決に向けたビジネスモデルを練り上げるプロセスは簡単ではありませんでした。しかし、互いの強みを尊重し、積極的なディスカッションを重ねてアイデアを形にした結果、1 位という高い評価を獲得することができました。この経験を通じて、異分野や異文化が交差する場で生まれるイノベーションの可能性と、自身のスキルを実践の場で発揮する手応えと自信を得ることができました。

また、生活面や課外活動においては、空手サークルへの参加や欧州各地への旅行、様々な文化背景を持つ友人たちとの交流を通じ、単なる異文化体験に留まらない人間的な成長を実感しました。留学当初は思ったようにコミュニケーションが取れず悩んだこともありましたが、その場にある体験や目の前の人との対話に真摯に向き合い自ら行動を起こすことを意識するようになってから、現地での人間関係や学びの質が飛躍的に深まりました。

そして、寮生活では異なる習慣を持った人たちとの生活を通して、自分の価値観が当たり前ではないということを痛感しました。共用スペースの使い方など不満に思うこともありましたが、キッチンなどでフラットメイトと会話した時間は良い思い出です。

異国の地で生活基盤を整え、直面する課題に対して粘り強く解決策を探り続けたこの 9 ヶ月間は、学術的な学びにとどまらない大きな成長の機会となりました。変化の激しい現代社会において、自分らしく柔軟に生きていくための自己効力感を養うことができました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学で培ったデータサイエンスやコンピューターサイエンス、ビジネスの複合的な学びと、グローバルな環境で培った実践的な問題解決力・異文化適応力を、今後の生活および社会での課題解決に活かしていきたいと考えています。

具体的には、AI やデータサイエンスの技術を理論にとどめず、環境問題や地域課題の解決といった具体的な社会還元につながる取り組みを進めていきたいです。留学中のハッカソンなどで学んだ多様な人々と協働する姿勢を忘れず、大学での勉強やインターンシップなどに精力的に取り組んでいきたいです。

また、留学を通じて体感した異なるバックグラウンドを持つ人々と対等に意見を交わし、目的を共有してやり遂げる力は、今後のあらゆるチームワークやプロジェクトマネジメントにおいて活かせると思います。将来的には、領域や国境の枠組みを超えて社会に前向きな変化を生み出せるリーダーシップを発揮できる人材となることを目指したいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学を検討・希望されている皆さんにお伝えしたいアドバイスは、目的意識を持ちつつも予期せぬ変化を楽しみ、目の前のリアルな体験に飛び込むことです。

渡航前に目的や軸を決めておくことは重要ですが、現地では想像以上に初めての出来事や新しい選択肢に出会います。そうした場面で自身の固定観念にとらわれず、サークル活動や地域コミュニティ、イベントなどに積極的に飛び込んでみてください。失敗を恐れずに一歩を踏み出した先での出会いや経験こそが、留学生生活を豊かにしてくれます。

また、写真や動画の記録、あるいは SNS での発信ばかりに気を取られるのではなく、その場の空気感や人との対話に全身で向き合う時間を大切にすることをおすすめします。言葉の壁や文化の違いに壁を感じる瞬間があっても、リスペクトの心を持って自らアプローチし続ければ必ず相手も理解しようとしてくれます。留学期間は限られていますが、そこで得られる記憶と自分自身の変化は、一生の財産になります。ぜひ高い志を持って、たくさん挑戦してみてください。